

み は ら み さ こ

三原 未紗子

▶ジャンル
ピアノ

▶所属マネジメント

新演コンサート／株式会社カモシタピアノ

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-10-3 太田紙興新宿ビル 1 階

TEL : 03-6384-2498 FAX : 03-6384-2483

担当マネージャー：

保科淳子・大森ユリカ desk@shin-en.jp (代表)

▶アーティスト在住地

神奈川県藤沢市

▶アーティスト出身地

神奈川県藤沢市

©J.Matsuo

プロフィール

第26回ヨハネス・ブラームス国際コンクールピアノ部門にて優勝。第24回ABC新人コンサート・オーディション最優秀音楽賞。第62回マリア・カナルス国際コンクールにて審査員賞のメダル受賞。グランド・プライズ・ヴィルトゥオーゾ・ザルツブルグ国際音楽コンクール2016第1位。

第12回ルーマニア国際コンクール第1位、日本ルーマニア音楽協会理事会賞。第5回アルコパッサ国際室内楽コンクールにて第2位（最高位）、ポルトガル作品最優秀演奏賞受賞。第7回せんがわピアノオーディションにて最優秀賞。

ソロ・室内楽において多彩に活動し、ソリストとしてユーロシンフォニーSFKオーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京など国内外のオーケストラと共演。

2枚のCD《ブラームス Neue Bahnen》《CONTRAST》（オクタヴィア・レコード）は各誌で選出。「彼女の強靱な指先は作曲家が一音一音に託した細やかなニュアンス

を克明に表す」と推薦された。

桐朋学園大学音楽学部、同研究科を修了。ベルリン芸術大学を最高位で卒業。平成29年度文化庁新進芸術家在外研修員としてザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学大学院に在籍し卒業。これまでにジャック・ルヴィエ、ズラータ・チョチエヴァ、二宮裕子、小森谷泉、土肥由美子、山本光世の各氏に師事。現在、桐朋学園大学非常勤講師、同附属子供のための音楽教室（仙川教室・お茶の水教室）非常勤講師。令和元年度藤沢市生涯学習特別貢献賞受賞。

公式ウェブサイト

<https://www.misakomihara.com>

公式Facebook

<https://www.facebook.com/misako.mihara/>

公式X

https://x.com/misa821_honey

公式Instagram

<https://www.instagram.com/misakomihara/>

自己アピール

4歳からピアノを始め、幼稚園の七夕では「歌って踊れるピアニスト」になりたいと書いた私ですが、いつか本物のピアニストになりたいと願い30年以上ピアノを弾いています。小さい時から舞台上で弾くことが好きで、発表会は一大イベント。いつも背伸びした曲を演奏できるようにはりきっていたのを覚えています。

大学卒業後に留学し、計4年半ほどヨーロッパで過ごしました。感動ありトラブルありの駆け巡るような日々でしたが、文化の違い、季節の変化、全てが刺激的で新しく、20代後半をヨーロッパで過ごせたことを幸せに思います。今まで引込み思案だった考え方もポジティブになり、表現することも怖くなくなり、そういった自分自身の変化も好きになりました。

帰国後から未就学児の小さなお子さんからピアノレッスンでの指導を始め、現在は小学生～大学生の幅広い年代のピアニストと接し、自由な発想や多角的な価値観に私自身も学びある日々です。

アウトリーチ活動は過去に経験があり、ヴァイオリニストとの同行で小学校へ伺ったり、ワークショップを一緒に行って参りましたが、ピアノソロでは新たな挑戦となります。

日頃、特に子供たちと接する際は仲良くなれるようにポジティブなコミュニケーションを心掛け、また、わかりやすく説明しながらお話しをするようにしております。アクティビティでは特に初めて会う子供たちと同じ目線でピアノという楽器に注目し、音楽と一緒に感じたり考えてみるきっかけの時間となるようにしたいと思っております。

ソロやコンチェルト、室内楽などジャンルに捉われず演奏会に出演させていただき、新たなレパートリー開拓に励んでおります。ブラームスだけでなく、バッハからラフマニノフなどの20世紀以降までの作曲家、それぞれの言葉を感じられる人になりたいと日々努めており、クラシック音楽を好きな人にも、初めてという方にも、演奏を通して作曲家の時代背景やメッセージが伝えられる音楽家になりたいと思っております。

この事業でできること、挑戦してみたいこと

◆アクティビティ

限られた時間だからこそ、演奏する側／聴く側とならないようコミュニケーションを一番大切にしながら、子供たちとの距離感を作らない空間作りを心掛けたいです。

○楽器の振動を感じよう

ピアノの音ってどこまで響く？楽器の響き（振動）を感じる時間。

ピアノの中を見ながら音の鳴り方を発見し、その音がだんだんと小さくなる余韻などを体感してもらうため、ピアノの脚に触れながら、響板に耳を寄せながら、あるいは部屋が一番遠くに行って響きがどこまで続くか体感してみます。「シューマン：トロイメライ」などを演奏しながら、自分の好きな響きを見つけていってほしいです。

○リズムで共演

みんなでリズムを一緒に感じられる作品があります。例えば「ラヴェル：道化師の朝の歌」ではスペインの要素があるため冒頭にフラメンコのリズムが際立ちます。みんなで手拍子（可能ならカスタネットを配布して）で数小節ピアノと一緒に演奏し、合奏体験をしていきたいです。

○音楽の後ろにはどんな背景が広がる？

作曲家たちがどんなイメージで曲を書いているのか…ピアノのドレミの音の後ろに見える素敵な詩の引用や、踊りや情景などをお話しし、曲の中から広がる世界観を捉えていきます。

例えば、「ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女」の亜麻色ってどんな色？などヒントを共有したり、作曲家のちょっとしたエピソードも交えながら作品の中身を紐解いていきます。子ども達の自由な発想を引き出しながら想像力を膨らませるきっかけに繋がればと思います。

◆コンサート

プログラムは初めての方でも楽しみながらお聴きいただけるような内容とし、緩急ある作品で構成します。日頃より演奏の合間ではトークを挟むことで内容がわかりやすかったなどと好評を頂いており、演奏と併せて作品をお伝えできるように努めております。

聴いたことがあるような親しみやすい作品と、ここぞの一曲で私がその時好きな作品と、本格的な演奏でお届けしたいと思っております。

演奏可能プログラム

- ・J.S.バッハ：フランス組曲 第3番、第5番、パルティータ 第2番、第3番、トッカータ
- ・J.S.バッハ＝ブゾーニ：無伴奏パルティータ 第2番より「シャコンヌ」
- ・ベートーヴェン：ピアノソナタ 第8番「悲愴」、第13番「幻想」、第14番「月光」、第17番「テンペスト」、第21番「ワルトシュタイン」、第23番「熱情」、第30番 ホ長調、第31番 変イ長調
- ・メンデルスゾーン：無言歌集より、ロンド・カプリチオーソ、厳格なる変奏曲
- ・シューマン：子供の情景、ピアノソナタ 第2番、天使の主題による変奏曲
- ・ブラームス：ピアノソナタ 第3番、「愛のワルツ」、子守唄、2つのラプソディ、7つの幻想曲集 Op.116、3つの間奏曲集 Op.117、6つの小品 Op.118、4つの小品 Op.119
- ・リスト：2つの伝説 第2番「波を渡る聖パウロのフランチェスコ」、ピアノソナタ 短調、愛の夢 第3番、パガニーニによる大練習曲 第3番「ラ・カンパネッラ」、第6番「主題と変奏」
- ・シューマン＝リスト：献呈
- ・シューベルト＝リスト：「糸を紡ぐグレートヒェン」「アヴェ・マリア」
- ・ショパン：スケルツォ 第2番、バラード 全4曲、ピアノソナタ 第2番・第3番、「華麗なる大円舞曲」、「猫のワルツ」、「子犬のワルツ」、幻想即興曲、幻想ポロネーズ
- ・ドビュッシー：前奏曲集より「亜麻色の髪の乙女」「花火」、ベルガマスク組曲より「月の光」、アラベスク 第1番
- ・ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ、鏡より「悲しき鳥たち」「道化師の朝の歌」、夜のガスパール
- ・スクリャービン：練習曲「悲愴」
- ・ラフマニノフ：前奏曲「鐘」、練習曲集「音の絵」より、ピアノソナタ 第2番（改訂版）
- ・チャイコフスキー：ドゥムカロシアの農村風景－Op.59、18の小品より「性格的舞曲」「瞑想曲」
- ・バルトーク：ルーマニア民族舞曲
- ・リゲティ：練習曲集より「ワルシャワの秋」「魔法使いの弟子」